

第2号様式の3

令和元年度第1回法務省総合評価委員会審議概要

開催日及び場所	令和元年6月26日(水) 15:45～16:45 法務省共用会議室4(大臣官房施設課旧入札室)		
委員	角田 茂 (大学参事) ※委員長 只木 誠 (大学教授) 遠藤 和義 (大学教授)		
審議対象期間	平成30年12月1日から平成31年3月31日まで		
【工事】		(備考)	
抽出対象案件	総件数 2件		
類 型	技術提案評価型 S型		0件
	施工能力評価型 I型		2件
	施工能力評価型 II型(一般タイプ)		0件
	施工能力評価型 II型(小規模タイプ)		0件
【業務】		(備考)	
抽出対象案件	総件数 2件		
類 型	標準型		0件
	簡易型		2件
委員からの意見・質問, それに対する回答等	意見・質問	回答	
	別紙のとおり	別紙のとおり	
委員会による意見の具申又は勧告の内容	具申又は勧告	回答	
	なし	なし	

別 紙

意 見 ・ 質 問	回 答
<p>(議題) 総合評価落札方式の実施状況について</p> <p>意見・質問なし。</p> <p>(議題) 抽出案件の審議 大阪医療刑務所新営準備（電気設備）工事 〔施工能力評価型Ⅰ型〕</p> <p>入札参加者が1者であるのはなぜか。</p> <p>本件は週休2日促進工事（受注者希望型）に指定されていたが、昨今、改定された「公共工事の品質確保の促進に関する法律」（以下、「品確法」という。）等により、今後はこのような取組をより一層推進させる必要があると考える。法務省は、どのような対応を取っていくのか。</p> <p>週休2日促進工事が適用されることにより、特に早期完成が求められる補正予算案件において、適切な工期は確保できるのか。</p> <p>公共工事では工期を守らなかった際の罰則が厳しいことから、週休2日促進工事におい</p>	<p>明確な理由は不明であるが、オリンピック等の影響により、建設業界において設備業者が全国的に多忙となっていることも要因のひとつと考えられる。</p> <p>品確法等の改正を受けた取組については、国土交通省から情報収集を行っているところである。できる限り足並みをそろえて推進していきたい。</p> <p>建設工期は、これまでも週休2日を確保しているため、補正予算案件においても通常と同様に、週休2日の建設工期を設定する予定である。</p> <p>なお、特に補正予算案件をはじめ早期完成が必要となる事業については、計画段階から週休2日促進工事を前提とした全体スケジュールによって管理し、適切な工期を確保できるよう留意したい。</p> <p>発注者として厳格に確認したい。</p>

て休日の施工を不正に行う可能性があるのではないか。

府中刑務所製品倉庫等耐震改修実施設計業務 [簡易型 (短縮)]

入札価格に大きな差が開いたのはなぜか。

技術提案書について、提案内容が少ないにもかかわらず、技術評価点が高い業者がいるのはなぜか。

簡易な耐震改修の設計業務であるが、対象となる施設が広範囲に及び、各業者における積算に対する考え方がそれぞれ異なったためと考えられる。

技術評価点の構成は、配置予定技術者の資格、実績における技術力、技術提案となっており、技術提案以外の得点が高かったためである。